

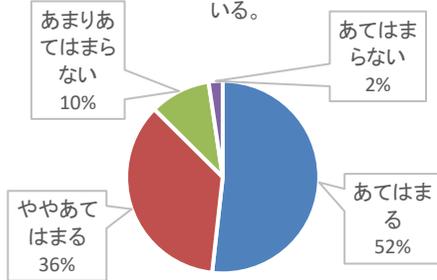


## 令和7年度「学校づくりアンケート(保護者用)」結果のお知らせ

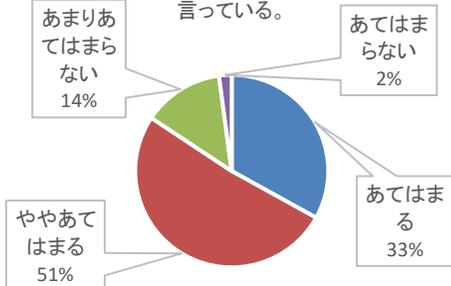
2学期末にご協力いただいた「学校づくりアンケート」の結果について、ご報告いたします。  
保護者の皆様からいただいた評価とご意見を真摯に受け止め、よりよい学校づくりのために活かまいります。

【アンケート実施期間】 11月21日～12月1日  
【アンケート対象者】 児童数(全校 423人)  
【アンケート方法】 ネット回答  
【アンケート回収率】 60.9%

1. お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。



2. お子さんは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。



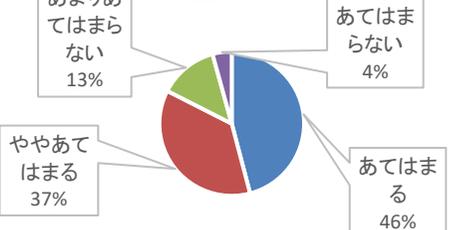
3. お子さんは、家庭学習(宿題を含む)の習慣がついている。

\* 家庭学習時間の目安は『学年×10分』です。

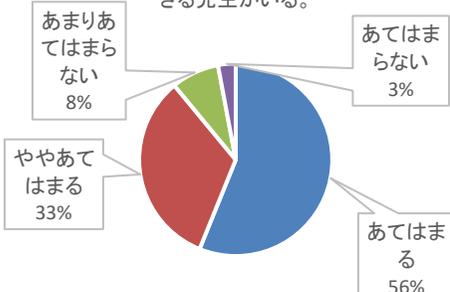


4. お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣がついている。

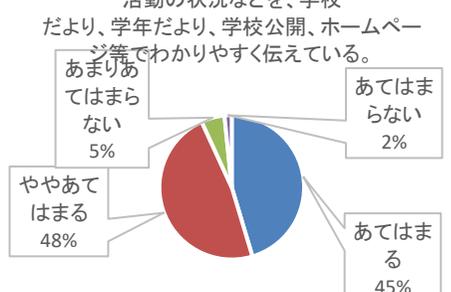
\* 子どもの睡眠時間の目安は『9時間程度』です。



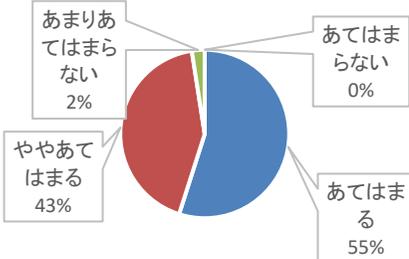
5. お子さんは、学校の中に、気軽に話ができる先生がいる。



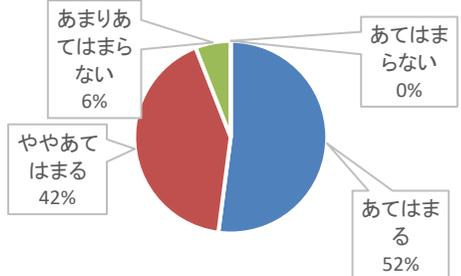
6. 学校は、教育方針や子どもの様子、教育活動の状況などを、学校だより、学年だより、学校公開、ホームページ等でわかりやすく伝えている。



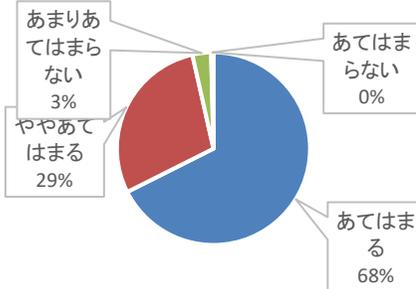
7. 学校は、子どもに、あいさつをすることや思いやりの気持ちを持つこと、社会のルールを守ろうとする態度を育てている。



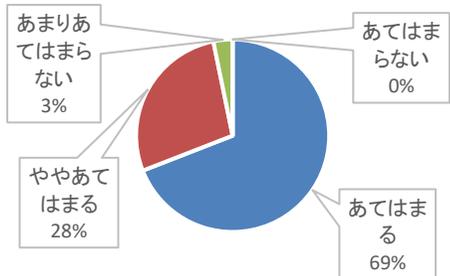
8. 学校は、いじめや暴力のない学級づくりに取り組んでいる。



9. 学校は、家庭への連絡・連携を行っている。

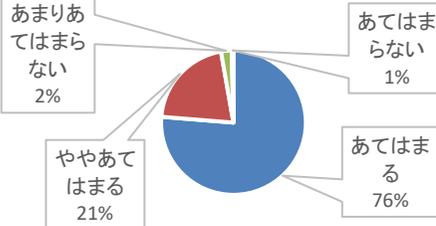


10. 学校は、保護者からの相談や連絡事に、適切に応じている。

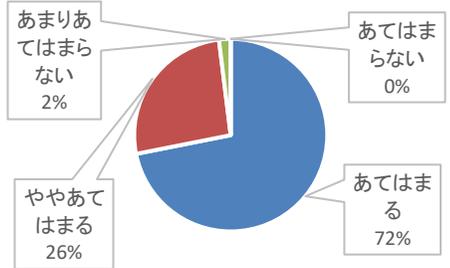


11. 学校から、地震や台風など非常時の対応について具体的に知らされている。

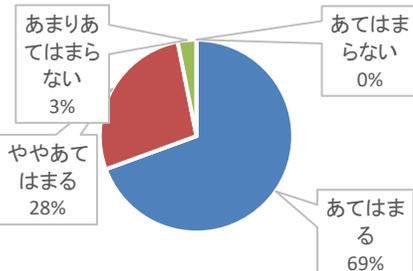
\* 震度5弱以上の地震が発生した場合は、保護者への引き渡しとなる。など



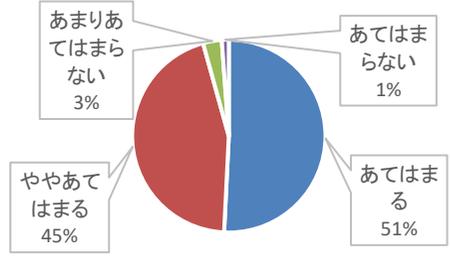
12. 運動会、遠足など学校行事は、お子さんが楽しめるものになっている。



13. ご家庭では、お子さんに、家庭や地域であいさつをするように声かけをしている。



14. あなたは、授業参観や保護者面談、PTA活動等に参加している。



今年度も多くの項目でプラスの評価結果となっており、大変励みになります。

◇項目1の「学校が楽しみ」88%、項目2の「授業が楽しくわかりやすい」84%と肯定的な評価が8割を超えた結果となりました。児童アンケートにおいても「学校に安心して過ごせる場所がある」94%、「学校の授業が楽しい」84%と肯定的な評価の割合が高く、嬉しい結果となりました。しかし、「あてはまらない」との評価の割合が数%あることにもしっかりと目を向け、今後も子どもたちが居心地よく楽しいと思える学校・学級づくり、楽しくわかりやすい授業づくりに努めていきます。

◇項目3の「家庭学習の習慣」については、肯定的な評価が昨年度より1%減少し68%となりました。例年他の項目と比べても低い割合であり、本校の課題と考えています。授業で学習したことを定着させるためには、家庭学習が大切であることを児童に再度意識させ、家庭学習の習慣を身につけていきたいと考えます。引き続き、ご家庭でもご協力をお願いします。

◇項目7の「あいさつや社会のルール」は肯定的評価が昨年度より5%、項目9の「家庭への連絡・連携」は3%上昇し、高い水準で肯定的な評価をいただくことができました。今後も児童の成長を支えるため、学校・家庭・地域が一体となった取り組みをさらに充実させてまいります。

◇さらに、項目6の「教育方針等の伝達」では、肯定的評価がR6年度の81%からR7年度には93%へと大幅に増加しました。これは、学校が発行する学校だより・学級だよりや、ホームページ・Sigfyを通じた情報提供が、より分かりやすく、保護者の皆様に伝わっていた結果だと、前向きに受け取りたいと思います。さらに、いただいたご意見を踏まえ、今後も情報発信の質を一層高め、保護者の皆様に学校の教育活動をご理解いただけるよう努めてまいります。

◇項目10の「学校は、相談や連絡事に、適切にに応じている」は、昨年度同様97%と非常に高い評価をいただくことができました。今後も保護者のみなさんと連絡を取り合いながら、一緒に子ども達の成長をサポートしていきたいと思えます。

◇一方で項目11の「非常時の対応」の否定的評価は、R6年度の1%からR7年度には3%へと増加しました。R6年度は肯定的合計が99%とほぼ完璧でしたが、R7年度はわずかに後退が見られます。他項目と比較した分析から、非常時に関する情報提供のタイミングや内容について、保護者の皆様がより迅速で具体的な連絡を求めている可能性がうかがえます。今後は、緊急時の連絡体制や対応手順を一層明確にし、安心していただけるよう改善を進めてまいります。

◇R7年度は学校と家庭のコミュニケーション改善が成果を上げた一方で、子どもの家庭学習の習慣化については、引き続き重点的に取り組むべき課題であることも明らかになりました。その他の項目についても、多少の変動はあるものの、概ね高い評価をいただいています。これらの結果を謙虚に受け止め、今後も学校・家庭・地域が連携しながら、よりよい教育活動の充実に努めてまいります。





--

]

]

]







